

有馬実成師没 10年 追悼講演会

泥の菩薩

NGO

(NGO: 政府や行政組織に属さない団体。一般に海外協力にも取り組む市民活動団体 (NPO) をいう。)

講師： さん (『泥の菩薩』著者)

会場： 本堂 (山口県萩市明木 4520)

日時： 2010年 8月 21日 (土) 午前 9時～10時

講師：大菅俊幸さんのご紹介

1950年、宮城県生まれ。駒澤大学大学院修士課程仏教学専攻終了。高校教員、出版社勤務を経て、有馬実成師に共鳴しNGOの世界へ。有馬実成師の遺稿集『地球寂靜』の編集を担当。著書に『泥の菩薩』(大法輪閣)他。 社団法人シャンティ国際ボランティア会職員

故有馬実成師(1936—2000)の略歴

1936(昭和11)年、山口県徳山市(現周南市)でお寺の長男として生まれる。

7歳の時、父が中国へ出征。8歳の時、父が中国で戦病死。

1958(昭和33)年、22歳の時、原江寺(周南市)の住職となる。その後、「緑蔭禅の集い」「禅の文化をきく会」「在日朝鮮人・韓国人被災者を考える会」などの市民活動団体(NPO)を立ち上げ、その後も生涯にわたって多くのNPOを立ち上げ、またNPOを支える制度づくりや災害救援ボランティアの組織づくりなどに深く取り組んだ。

1981(昭和56)年、45歳の時、「曹洞宗ボランティア会(SVA)」(現在の社団法人シャンティ国際ボランティア会)を結成。1983(昭和58)年より「慈愛の衣類を贈る運動」を全国で展開。1987(昭和62)年、51歳の時、「NGO活動推進センター(JANIC)」(現在のNPO法人NGO国際協力センター)の創立に関わる。

1993(平成5)年、56歳の時、「シャンティ山口」(現在のNPO法人シャンティ山口)の創立に関わり、顧問に就任。1995(平成7)年、59歳の時、阪神淡路大地震発生。神戸に入り、被災者支援に取り組む。日本語を学ぶ機会がなかった高齢の在日コリアンたちのための識字教室「ひまわりの会」の設立に関わる。

1997(平成9)年、61歳の時、「震災がつなぐ全国ネットワーク」の創立に関わり、顧問に就任。同年より入退院を繰り返す。翌1998(平成10)年には、「東京災害ボランティアネットワーク」の副代表に就任。また「NGOネットワーク山口」の代表世話人に就任。享年64歳。

主催：「有馬実成師没10年 追悼講演会」実行委員会

協力：NPO法人NGO国際協力センター、NGOネットワーク山口

社団法人シャンティ国際ボランティア会、NPO法人シャンティ山口

後援：山口県曹洞宗青年会、原江寺

(事務局)山口県萩市明木 250 Tel: 0838-55-0088

(同日、8月21日、明木図書館 (Tel: 0838-55-0314) が主催する企画をご案内します。)

午前10時半より 明木公民館 (旭マルチ) にて 「著者が語る講演会」 (無料)

演題： ~

講師： さん ケーストスピーカー：村崎修二さん (猿舞座座長)

午後2時より ちはるえん (明木、老人ホーム) にて 「本の森コンサート」 (無料)

出演： 風来坊 ~

<メンバー> 佐野昭仁さん・吉原達也さん・村崎耕平さん <ケースト> 李陽雨さん・イージー TAKU さん